

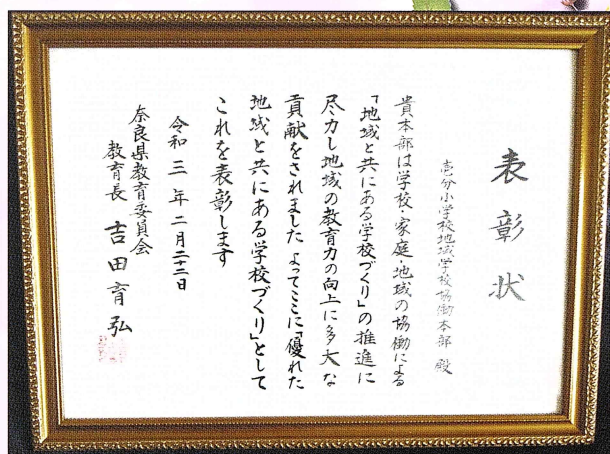
## 壱分小学校地域学校協働活動

文部科学大臣・  
奈良県教育委員会教育長より 表彰状

壱分小学校区の地域と学校が一体となった「地域学校協働活動」が高評価され、文部科学大臣及び奈良県教育委員会教育長より表彰状が授与されました。



文部科学大臣



奈良県教育委員会教育長

奈良県の表彰式は去る2月22日、壱分小学校で行われ、奈良県教育委員会より表彰状が授与されました。

一方、文部科学省からの表彰式は同月25日、文部科学省庁舎と壱分小学校をオンラインで、表彰式と「多様なつながりによる地域づくり」をテーマにワークショップが開催されました。ワークショップでは、広島県大竹市、新潟県新潟市、秋田県能代市と日頃の活動を交流しました。短時間でしたが、三市の先進的な取組をお聞きし多くのことを学んだ実りあるワークショップでした。

今回の栄えある‘ダブル受賞’は、やまびこネットワークが、今日まで一步一步積み上げてきた成果の一端がその礎になっていることを大変うれしく思っています。

これからも、この喜びを更なる飛躍の糧に今日的な教育課題に寄り添い、子育て支援とつながりのある地域づくりにより一層寄与していきたいと思ひます。



オンラインによる表彰式 文部科学省



壱分小学校

# あいさつ通りは‘教室’です！

やまびこネットワークがあいさつ運動を始めて17年、当初は先ず「大人の姿を子どもたちに示そう」から出発しました。

しかし、今では子どもたちの元気なあいさつに大人が学ばねばならないようになりました。子どもたちは確かにすくすくと育っています。

一方、コロナ禍、瞬間の癒しを求めて三々五々ウォーキングや犬の散歩を楽しむ姿が目立つようになりました。

2月19日、朝日新聞に埼玉県の僧侶は「……昨春、新型コロナウイルス感染防止で一斉休校になったが、再び起きないように願っている。通学路を歩き登校することは地域の人と関わりを持つ大切な機会であり、授業だけでなくそこにも学びがある……」と投稿されています。

これからは、あいさつ通りが、子育ての場として、そして地域社会の交流の場として、つながりの街づくりのある起点となることを願っています。



## 壱分小学校・成果を発表

### 生駒市地域ぐるみ連絡協議会連絡会

去る、2月2日令和2年度第一回地域ぐるみ連絡協議会連絡会が、たけまるホール・大ホールで開催されました。

当日は、今年度新しくスタートした生駒市地域学校協働活動推進事業モデル校の壱分小学校から、他の推進モデル校と共に日頃の取組が報告されました。

壱分小学校からは、やまびこネットワークの活動を中心に、校区内組織との協働活動が紹介されました。

その後は、奈良県CSアドバイザーの新谷明美さんより、「コミュニティスクール」の意義・ねらいについてお話があり数多くのことを学んだ有意義な一日でした。



原井校長先生の発表